

## 企業会計と学校会計について

### 1. 企業会計について

一般企業（営利法人）は、利益を追求する法人です。この法人に適用される会計は、収益と費用を正しく捉えて期間の損益を計算し、財政状態（資産、負債、資本）を知ることによって、収益力を高め、財政的安全性を図ることを目的としています。

一般企業の報告に利用される重要な財務諸表は以下の3つとなります。

#### ①損益計算書

損益計算書は、企業の経営成績を明らかにするため、一会計期間に属するすべての収益から、これに対するすべての費用を控除して経常利益を表示し、これに特別損益に属する項目を加減して当期純利益を表示するものです。

#### ②貸借対照表

貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、決算日におけるすべての資産、負債及び資本を記載し、株主、債権者その他の利害関係者にこれを正しく表示するものです。

#### ③キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書は、企業の一会計期間におけるキャッシュフローの状況を利害関係者に報告するものです。キャッシュフローの状況とは、一会計期間にどれだけのキャッシュが流入し、どれだけのキャッシュが流出したのかをいいます。

### 2. 学校会計について

学校法人は、教育研究活動を目的とし、その経費の多くは学生生徒からの納付金、国等による補助金、寄付金によって賄われているきわめて公共性の高い法人です。学校会計の目的は、「収支の均衡の状況と財政の状態を正しくとらえ、永続的發展に役立てる」ことにあります。

学校会計において報告に利用される重要な計算書類（企業会計では財務諸表）は以下の4つとなります。

#### ①資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度における資金収入及び資金支出の内容を表示し、当該会計年度の支払資金（現金や預金）の収入及び支出のてん末を明らかにするもので、学校会計特有の計算書類です。

#### ②活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、①の資金収支計算書を3つの活動に区分し、活動ご

との資金の流れを明らかにするもので、企業会計でいえばキャッシュフロー計算書に近いものです。活動の区分とは、「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3区分となります。

#### ③事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該年度の「教育活動」、「教育外活動」、「その他の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の状況を明らかにするものです。企業会計でいえば損益計算書に近いものです。

#### ④貸借対照表

貸借対照表は、学校法人の財政状態を明らかにするため、会計期間末におけるすべての資産、負債及び基本金を記載し、正しく表示するものです。企業会計の貸借対照表に近いものですが、科目の配列方法に相違があります。一般企業は流動性配列法（短期的に現金化できるものを上位に表示）により表示されていますが、学校会計では固定性配列法（長期的に保有するものを上位に表示）により表示しています。

一般企業 貸借対照表		学校会計 貸借対照表	
流動資産	流動負債	固定資産	固定負債
固定資産	固定負債	流動資産	流動負債
	純資産		純資産